

(プレビュー)

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

<調査の趣旨>

国立大学法人等(大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構を含む。)の施設は、創造性豊かな人材養成、独創的・先端的な学術研究の推進など国立大学法人等の使命を果たすための重要な基盤であり、その施設の整備・充実を図っていくことは、我が国の未来を拓き、我が国を成長・発展に導くことにつながります。

そのため、文部科学省では、2001年度から4次にわたり、「国立大学法人等施設整備5か年計画」(以下「5か年計画」という。)を策定し、整備充実に努めているところです。

ところが、現行の第4次5か年計画が策定された2016年3月以降、国立大学法人等を含む高等教育を巡る状況は大きく変革しつつあります。例えば、第3期教育振興基本計画(2018～2022年度)や、現在中央教育審議会で議論されている「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」(答申(案))では、アクティブ・ラーニングの一層の推進、超スマート社会(Society5.0)への対応、イノベーション創出等のための大学院教育改革、多様で柔軟な教育プログラム、多様な学生・教員、グローバル化への対応等が打ち出されています。また、2018年6月閣議決定の統合イノベーション戦略では、大学改革等によるイノベーション・エコシステムの創出として、研究生産性の向上、産学連携の強化等が打ち出されています。さらに、昨今の地方創生に関する各種施策では、地方の特色ある創生に向け、地方の大学により積極的な連携を進めていく必要性が打ち出されています。

上記の様々な変革への対応は、一見、高等教育施策等のソフト施策における改革で完結すると思われるかも知れませんが、それらソフト施策を支える重要な基盤である施設の整備・充実が伴わないと、ソフト施策における改革が十分効果を発揮しないものも多くあると思料します。

そこで、上記の様々な変革に国立大学法人等が対応していくに当たり、国立大学法人等の施設の整備・充実等がどのように必要か等を検討し、2020年度からの次期5か年計画に活かすための基礎資料として、研究の最先端で活躍されている皆様のご意見を伺いたく、本調査を実施（「今後の国立大学法人等施設整備に関する有識者会議」の一環として実施）します。

なお、この調査には、現在国立大学法人等に在籍している方はもとより、国立大学法人等に在籍していない外部の方（施設の専門家である必要も全くありません）がどのようにお感じになられているかも大変参考になりますので、是非、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけると幸甚です。

調査結果は、上記有識者会議の報告書の一環として公表する予定です。ご回答は個人が特定できないよう統計的に処理し、自由回答を引用する場合は匿名性を確保いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部計画課整備計画室

【問合せ】担当：科学技術予測センター 田中 綾子

Mail:stfc@nistep.go.jp

アンケートサイトに関するお問合せは、上記担当までご連絡下さい。

<調査の構成>

【ご回答者の属性】

- ・所属機関
- ・ポジション
- ・研究分野

【昨今の様々な変革に国立大学法人等が対応していくに当たっての、国立大学法人等施設の整備・充実の必要性】

○教育研究の多様化・高度化への対応における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

・大学の教育研究におけるアクティブ・ラーニングの導入における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・従来の学部・研究科等の組織の枠を超えた迅速かつ柔軟な教育プログラム編成への対応における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・Society5.0の実現やAI研究の推進に資する教育研究の実施における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・イノベーション創出に寄与するとともに生産性の高い教育研究活動の実施における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

○学生・研究者の多様化への対応における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・人生100年時代を踏まえた社会人学生の増加への対応における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・海外からの研究者や留学生の受入れとグローバル化の推進における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

○社会との連携・協力の推進への対応における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・産学官連携の推進における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

- ・地方創生への貢献における国立大学法人等の施設の整備・充実の必要性

【様々な変革に対応する際の、施設整備の手法、財源】

- ・限られた敷地・施設・スペースの中における新たな時代のニーズへの対応

- ・新たな時代のニーズに対応するための財源の拡充

<回答要領>

(1)2018年12月5日(水)までにご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

(2)質問は合計13問で、回答には15分程度を要します。

なお、選択肢で「その他」を選んだ場合は、具体的な内容の入力が必須となります。

- (3)あらかじめ質問の内容をご覧になりたい場合は、PDF形式の調査票をこちらからダウンロードできます。
- (4)ご回答は、文部科学省科学技術・学術政策研究所において厳正に管理します。
- (5)ご不明な点がある場合には、下記担当までご連絡下さい。

<留意事項>

- ・アンケートは画面下の「回答する」をクリックして進めてください。
 - ・前に戻る場合は、Webブラウザの「戻る」(「←」ボタン等)で戻ってください。
 - ・回答を一時的に保存したり、再開する機能はご用意していません。
- 途中で回答を中止する際には、再度最初の質問から回答し直して頂く必要があります。
- ・回答画面(回答用URL)にはタイムアウトによるセッションの切断がないため、
ブラウザを閉じない限りは、回答状況が維持されます。
 - ・回答中にページを再読み込み(リロード)した場合、アンケート開始ページに遷移し、
それまでの回答は破棄されますのでご注意ください。
 - ・回答データは、「送信」を押さない限り送信されないため、回答終了後、忘れずに
「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」後の修正は出来ません。

以上の留意事項をふまえて、ご協力をよろしくお願い致します。

<アンケート担当>

科学技術予測センター

田中 綾子

Mail: stfc@nistep.go.jp

回答する

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q3 / Q32

(プレビュー)

【ご回答者の属性】

設問1. あなたの所属機関、所属機関におけるポジション、研究分野について伺います。

(1) 所属機関

*

国立大学法人等(注1:大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構を含む。)

私立大学法人

公立大学

大学以外の国の公的な研究機関

都道府県及び市町村の研究機関

民間企業の研究施設

民間企業

その他(以下の自由記述欄にご記入ください)

(2) 所属機関におけるポジション

*

マネジメントのみを行っている

主にマネジメントを行っているが、研究も行っている

主に研究を行っているが、マネジメントも行っている

研究のみ行っている

主に研究活動の支援を行っている

その他(以下の自由記述欄にご記入ください)

(3) 研究分野

*

情報学

環境学

複合領域

総合人文社会

人文学

社会科学

総合理工

数物系科学

化学

工学

総合生物

生物学

農学

医歯薬学

その他

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q4 / Q32

(プレビュー)

【昨今の様々な変革に国立大学法人等が対応していくに当たっての、国立大学法人等施設の整備・充実の必要性】

設問2. 教育研究の多様化・高度化への対応における国立大学法人の施設の整備・充実の必要性について、以下の設問(全4問)にご回答下さい。

(1) 大学の教育研究にアクティブ・ラーニング(注2)を更に取り入れる場合、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

(注2) 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。(出典:文部科学省HPより)

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ① 強く思う → [回答欄\(ロ\)](#)へ
- ② そう思う → [回答欄\(ロ\)](#)へ
- ③ そう思わない → [回答欄\(ハ\)](#)へ
- ④ 全く思わない → [回答欄\(ハ\)](#)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q6 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①大講義室から小規模教室への転換
- ②パーティション等により、大講義室にも小規模教室にも自在に変換できるフレキシブルな空間の充実
- ③グループ学習や学生どうしの発表ができる空間
- ④学生が自由に集えて議論できるラウンジ
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q6 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q7 / Q32

(プレビュー)

(2) 中央教育審議会において、「各大学等が多様な教育プログラムの提供を実現するため、時代の変化に応じ、従来の学部・研究科等の組織の枠を超えて、迅速かつ柔軟な教育プログラム編成ができるようにすることが必要」との議論がなされています。このような教育プログラム編成を可能とするため、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強くそう思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全くそう思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q9 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①様々な学部・学科が共通で利用できる講義室や実験室の拡充
- ②全学的にスペースを管理し、活動にあわせ柔軟に配分
- ③複数の講義室をつないで1つの授業ができるよう、講義室どうしを高度なICTで接続
- ④学部の垣根を越えて研究者どうしが交流できるスペースの確保
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q9 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q10 / Q32

(プレビュー)

(3) Society5.0(注3)の実現やAI研究の推進に資する教育研究を実施するために、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

(注3) Society 5.0で実現する社会は、IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能(AI)により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革(イノベーション)を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会となります。(出典:内閣府HPより)

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強く思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全く思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q12 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①情報系学科の施設・設備の充実
- ②情報系に限らず、人文・社会科学系も含めたITリテラシー教育のための施設・設備の充実
- ③テレビ会議システム等、遠隔授業・教育の充実
- ④SINET等学術情報ネットワークの充実
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q12 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q13 / Q32

(プレビュー)

(4) イノベーション創出に寄与するとともに、生産性の高い教育研究活動を行うために、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強く思う →[回答欄\(ロ\)へ](#)
- ②そう思う →[回答欄\(ロ\)へ](#)
- ③そう思わない →[回答欄\(ハ\)へ](#)
- ④全くそう思わない →[回答欄\(ハ\)へ](#)

[次へ](#)

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q15 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①研究スペース(若手研究者のためのスペースを含む)の拡充
- ②老朽化した施設の改修
- ③老朽化したライフラインの更新
- ④実験設備の更新
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q15 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q16 / Q32

(プレビュー)

設問3. 学生・研究者の多様化への対応における国立大学法人の施設の整備・充実の必要性について、以下の設問(全2問)にご回答下さい。

(1) 人生100年時代を踏まえ、社会人学生を増やしていく際、現在と比し、国立大学法人等の施設・設備に整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強くそう思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全くそう思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q18 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①ラウンジやロッカールーム等、学生のためのスペースの拡充
- ②教員と学生がもっとディスカッションをできるよう、打合せスペース等の充実
- ③仕事と両立できるよう、駅前のサテライトキャンパスの充実
- ④遠隔教育実施のための施設・設備の充実
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q18 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q19 / Q32

(プレビュー)

(2) 海外から研究者や留学生をもっと受入れ、グローバル化を進める上で、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強くそう思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全くそう思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q21 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①海外からの研究者や学生のための宿舎の拡充
- ②海外からの研究者や学生のための短期滞在施設の拡充
- ③海外からの研究者や学生のための研究スペースの拡充
- ④外国の文化・習慣等を考慮したスペース・設備の充実
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q21 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q22 / Q32

(プレビュー)

設問4. 社会との連携・協力の推進への対応における国立大学法人の施設の整備・充実の必要性について、以下の設問(全2問)にご回答下さい。

(1) 産学官連携をもっと進める際、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強くそう思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全くそう思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q24 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①共同研究スペースの拡充
- ②企業ニーズや研究の進展にスムーズに対応できるフレキシブル性
- ③最新の設備
- ④施設のセキュリティー
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q24 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q25 / Q32

(プレビュー)

(2) 国立大学法人等にはもっと地方創生に貢献することが期待されていますが、その際、現在と比し、国立大学法人等の施設にはもっと整備・充実・改善等が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強くそう思う →[回答欄\(ロ\)](#)へ
- ②そう思う →[回答欄\(ロ\)](#)へ
- ③そう思わない →[回答欄\(ハ\)](#)へ
- ④全くそう思わない →[回答欄\(ハ\)](#)へ

[次へ](#)

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q27 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①産業振興・人材育成・医療・防災等、地方公共団体が担う役割と協働できる施設や機能
- ②全国どの大学でも地域格差ない研究環境を目指したSINET等学術情報ネットワークの充実
- ③大学の成果・ノウハウを地域に発信し、それらと地域や域内企業とをマッチングする施設や機能
- ④地域の方々と研究者、学生、留学生や起業家などとの交流が促進される施設や機能
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q27 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q28 / Q32

(プレビュー)

【様々な変革に対応する際の、施設整備の手法・財源】

設問5. 上記設問2～4の新たな時代のニーズに対応する際の手法、財源について、以下の設問にご回答 下さい。

(1) 国立大学法人等の限られた敷地・施設・スペースの中で、新たな時代のニーズに国立大学法人等の施設が応えていくためには、施設の有効活用や工夫が必要だと考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。

*

- ①強く思う →回答欄(ロ)へ
- ②そう思う →回答欄(ロ)へ
- ③そう思わない →回答欄(ハ)へ
- ④全くそう思わない →回答欄(ハ)へ

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q30 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(口)】①、②を選択した場合、該当するものを以下より選択願います。(最大3つまで複数選択可)

* (複数選択)

- ①施設の集約化・高層化
- ②全学的なスペース管理の観点からの不要なスペースの点検・洗い出し
- ③教室・研究スペース等の共有化
- ④施設整備における優先順位付けの徹底
- ⑤その他(自由記述欄へ)

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q30 / Q32

(プレビュー)

【回答欄(ハ)】③, ④を選択した理由を記述願います。

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q32 / Q32

(プレビュー)

(2) 上記設問2～4の新たな時代のニーズに国立大学法人等の施設が応えていくためには、財源の拡充が必要と考えますか。

【回答欄(イ)】以下より1つ選択願います。 →それぞれの選択肢について、選んだ理由を回答欄(ロ)に記述願います。

*

- ①強くそう思う
- ②そう思う
- ③そう思わない
- ④全くそう思わない

【回答欄(ロ)】

(任意)

0文字

次へ

今後の国立大学法人等の施設整備に関する意識調査

Q32 / Q32

(プレビュー)

質問は以上です。

修正する場合は、ブラウザの「←」(戻る)で質問に戻ってください。
終了する場合は、最後に「送信」を押して下さい。

送信